

KRONOS システム・バージョン 2.0 の新機能

KRONOSソフトウェア・バージョン2.0では、User Sample Banks機能や、内蔵SSDの追加、AkaiおよびSoundFont 2.0への対応性向上、USB Ethernetアダプター対応によりKRONOSとコンピューターとの間でのファイル転送など、数多くの新機能を追加しました。

これらの新機能に加えて、動作性能や精度の向上も行いました。

最新バージョンのソフトウェアは、コルグ・ウェブサイトから無償でダウンロードできます。

User Sample Banks

ユーザー・サンプル・バンク機能は、EXsの利便さをユーザー・サンプルによるライブラリーにも拡大した機能です。これにより、ユーザー自身による大容量のカスタム・サンプルやコンバートしたサンプルを、Virtual Memoryを使用して1度にロードし、演奏することができます。また、ディスクやメモリー管理の性能も向上しました。User Sample Banksのカスタム・サンプル・セットを作成することができるようになり、異なるバンクに入っているサンプルを同一バンク内にコピーすることなく混在させた状態のまま使用できるようになりました。

また、これにより友達などと共作する場合にもデータのやり取りがこれまで以上に気軽に行えるようになりました。これは、サンプルのデータがインターナル・ディスク内で移動したり、あるいは別のシステムにデータが移動しても、User Sample Banksへのリンクをプログラムが常にキープできるようになったためです。

(→p.144 「ユーザー・サンプル・バンク (User Sample Banks)」)

AkaiおよびSoundFont 2.0への対応性の向上

KRONOSソフトウェア・バージョン2.0では、Akai、SoundFont 2.0への対応性が向上しました。中でも、最大16ステレオ・ベロシティ・ゾーンの設定がHD-1プログラム1つで可能になった点です。この場合、OSC1とOSC2の両方にステレオのマルチサンプルを使用することで可能になります。

内蔵SSD増設をサポート

今回のバージョン・アップでは、内蔵SSDをもう1つ増設することができるようになりました。これにより、さらに多くのサンプルやオーディオ、プログラムなどのデータをストレージすることができます。

内蔵SSDの増設は、コルグ・サービス・センターで有償にて承ります。

SSDの購入、増設につきましては、コルグお客様相談窓口にお問い合わせください。


USB EthernetとFTPに対応

KRONOSソフトウェア・バージョン2.0では、USB Ethernetアダプターを使用し、内蔵FTPサーバー機能による、コンピューターとの高速で簡便なファイル転送が行えるようになりました。KRONOSのデータ・バックアップやサンプルの転送、プログラムなどのデータの再構成や各種ファイルやディレクトリのリネーム作業などが簡単に行なえます。

KRONOSでは、市場で広く販売されているUSB Ethernetアダプターに対応しています。対応機種は次の通りです。

- Apple MC704ZM/A
- バッファロー BUFFALO LUA3-U2-ATX
- バッファロー BUFFALO LUA-U2-KTX
- バッファロー BUFFALO LUA3-U2-AGT
- プラネックス Planex UE-100TX-G3
- ロジテック Logitech LAN-TX/U2B
- ロジテック Logitech LAN-TX/U2H3
- アイ・オー・データ I-O DATA ETX3-US2
- CISCO Linksys USB300M
- TRENDnet TU2-ET100C

(2012年5月15日現在)

 上記以外のアダプターは、正しく動作しませんのでご注意ください。

(→p.157 「USB EthernetアダプターとFTP経由でコンピューターに接続する」)

下記にて、お問い合わせや質問などを承ります。

- 内蔵SSD増設の作業に関するお問い合わせ：
コルグ・サービス・センター
- 内蔵SSDの購入、増設による機能およびソフトウェア・バージョン2.0など製品の使い方に関するお問い合わせ：
お客様相談窓口

「クイック・スタート・ガイド」または「オペレーション・ガイド」の巻末をご参照ください。